

事業番号	07 03 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	IT産業振興事業費	部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課				
		実施期間	H27 ～	E-mail	ritti-it @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

- ・IT人材・IT産業の集積地「信州」を目指し令和元年に策定された「信州ITバレー構想」推進のための取組は、成果が結実しはじめている。
- ・県内IT事業所数の増加やITに係るつながり人口の増加等は進むも、県内総生産における情報通信産業の割合は全体の2.6%（R4年度調査）に留まるなど、地域や地域企業へ還元する仕組みに課題がある。
- ・また、「生成AI」の登場以降、AI利用が飛躍的に発展している。また、新型コロナウイルス感染症の流行を経て、デジタル技術が広く一般化された一方、県内産業におけるDXの理解や取組が十分とはいえず、真のDXには至っていない。

2 事業目的

- ・AI等の先端技術を触媒に、多様な人材・企業が集まり、イノベーションが創出される場を形成する。
- ・県外企業・人材との連携を通じて県内産業の技術革新を促進し、県内外のIT企業やスタートアップとの協業を加速。産学官金など多様な主体が有機的につながることで、情報共有・連携・協働を通じて持続的に取組を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①信州ITバレー構想の推進及び新たなイノベーションの創出

- ・【新】これまでに構想で培ったネットワークと地域の強みを活かした次世代コミュニティ形成を促進する。
- ・【新】地域や企業が抱える課題とAI技術をマッチングし、概念実証（PoC）を通じて社会実装を促進することで、地域課題の解決や新たな産業・サービスの創出を目指す。

②産業DXの着実な推進

- ・【拡】デジタル化支援の一貫施策として、長野県デジタル化一貫支援サイトの活用によるデジタルソリューション情報の周知、各種セミナーの開催、専門人材による伴走支援など多様な支援を展開。商工団体や県内IT事業者と連携し、デジタル・先端技術の活用を促進することで、県内企業の生産性向上と競争力強化を図る。

③AI/IT人材の育成・確保

- ・【新】高等学校DX加速化推進事業（DXハイスchool事業）の採択校に対して県内情報サービス事業者との連携を支援し、県内情報サービス事業者が最新機器の活用支援や外部専門家との協働環境を整備することにより、地元企業への理解促進と人材定着を目指す。
- ・【拡】県内事業者にとっても重要な課題である高度IT人材の確保に向け、県内企業と海外人材の接点を創出し、実践的な交流を通じて採用や定着につなげる仕組みを構築するため、海外在住のIT人材向けのインターンシップを実施する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし -：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R8年度	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移		
①	県支援によるAI技術を用いた企業課題解決件数	件	-	-	-	-	-	5	R8年度は初年度のため、目標値は対前年増として設定。
②	DXの取組状況 （長野県景気動向調査対象企業）	%	39.1	40.5	↗	50.0	↗	60.0	県内産業のDXの対応状況を把握するため、R5年度から新たに調査を開始した本指標を設定。目標値はR6年度の調査結果を参考に設定。
③	新たに海外IT人材のインターンシップを受け入れる県内事業者数	者	-	-	-	3	-	3	R8年度はR7年度に実施した県内事業者へのヒアリングの結果を踏まえて数値を設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1④	成長産業の創出・振興	☆労働生産性(2020年度比)	%		-	2021(R3)	5.6	2022(R4)	8.4	2025(R7)	11
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆社会増減(2023～27年度累計)	人		-	2023(R5)	1,763	2024(R6)	4,424	2027(R9)	2,700
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	☆移住者数	人	2022(R4)	3,334	2023(R5)	3,363	2024(R6)	3,747	2027(R9)	4,500
3-1⑤	移住・交流・多様なかかわりの展開	リゾートテレワーク実施者数	人	2022(R4)	4,433	2023(R5)	5,752	2024(R6)	5,973	2027(R9)	5,000

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分		予算額				決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)		
R8年度	予算案		176,055		176,055	90,516	4.0
	要求		186,612		186,612	127,148	
R7年度		0	146,557	0	146,557	97,516	4.0
R6年度		0	158,838	0	158,838	96,618	5.0
要求からの 主な変更点		・信州型サンドボックス事業において、委託内容の一部見直しによる経費の減額 ・「信州 I T バレー構想」広報発信事業において、委託内容の一部見直しによる経費の減額 ・デジタル化一貫支援事業において、委託内容の一部見直しによる経費の減額 ・海外 I T 人材獲得支援事業において、事業内容の見直しによる旅費及び補助金の減額					

事業番号	07 03 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）			□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	IT産業振興事業費			部局	産業労働部	課・室	産業立地・IT振興課	

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	推進協議会運営事業		96,354 千円	83,297 千円	予算案 7,974 要求 7,974 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和 8 年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	推進協議会運営事業	委託	推進協議会運営を担う専門人材を配置し、協議会全体の取組を推進 専門人材の配置：1 名 会議開催：6 回		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算	
2	信州型サンドボックス事業		— 千円	— 千円	予算案 要求	78,258 79,330 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	信州型サンドボックス事業 （PoC支援補助）	補助金	【新】AI企業と県内企業との協働による試作品等の研究開発経費、実証実験関連経費等を補助（補助率10/10、支援期間：6か月程度）			
			補助件数：5件以上			
2	PoC事務局運営事業	直接 委託	・【新】県内企業とAI企業とのマッチング、補助金申請のサポート等を行う事務局の運営			
			・【新】専用ホームページを構築・運用し、課題提案の集約やマッチング情報を発信するとともに、説明会・メディア媒体等を通じて事業を発信			
			課題提案件数：10件以上			

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	「信州ITバレー構想」広報発信事業		— 千円	— 千円	予算案 25,000 要求 28,001 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	「信州ITバレー構想」広報発信事業	直接 委託	・【新】情報交換の場やHP等を運営し、「信州ITバレー構想」の進捗や成果、展望を効果的に発信・ブランディング PRイベント出展数：3回		

細事業 No.	細事業名		R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	リゾートテレワーク推進事業		21,311 千円	15,346 千円	予算案 4,535 要求 4,535 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	リゾートテレワーク推進事業	直接 委託	HP、SNSでリゾートテレワーク受入施設やイベントを紹介。都市圏企業等に向けてリゾートテレワークの地域事例・効果をアピールする冊子を作成 HP、SNS及び冊子での地域事例掲載数：10件以上		

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	デジタル化一貫支援事業	20,259 千円	26,854 千円	予算案 47,698 要求 52,315 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	デジタル化一貫支援事業	直接 委託	・各種業界団体等との連携によりデジタルソリューションの周知から導入までを一貫して支援するとともに、専門人材による伴走支援を実施 ・【拡】地域IT事業者を広域の「地域サポーター」として配置するほか、デジタル化一貫支援サイト改修、デジタルリテラシー向上研修、AIエージェント構築に向けた支援事例のデータベース化を実施 地域サポーター配置：4名、研修開催：3回	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
6	DXハイスクール支援事業	－ 千円	－ 千円	予算案 4,263 要求 4,263 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	DXハイスクール支援等に係る委託事業	委託	・【新】教員、生徒向けのデジタル人材育成研修を実施 ・【新】DXハイスクール採択校と県内事業者とのマッチング 教員向け研修：1回 生徒向け研修：2回 マッチング数：2校口	
2	DXハイスクール支援等に係る経費補助	補助金	【新】実践的な探究活動に関するテーマ設定及び最新機器の活用や外部専門家との協働といった伴走支援に要する経費の一部を県内IT事業者に対し補助 補助件数：2件	

細事業 No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
7	海外IT人材獲得支援事業	5,991 千円	8,374 千円	予算案 8,327 要求 10,194 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	現地滞在型インターンシップ実施等に係る委託事業	委託	【拡】県内事業者が実施する、海外在住の高度IT人材向けのインターンシップの組成サポート 新たに海外IT人材のインターンシップを受け入れる県内事業者：3社（取組No. 1と2の合算）	
2	日本受入型インターンシップ実施等に係る経費補助	補助金	海外IT人材をインターンシップとして受け入れる県内事業者に対し、取組経費の一部を補助 新たに海外IT人材のインターンシップを受け入れる県内事業者：3社（取組No. 1と2の合算）	